

(再評価)

資料 5-1-②
平成30年度 第1回
関東地方整備局
事業評価監視委員会

中部横断自動車道 富沢～六郷

平成30年7月5日

国土交通省関東地方整備局

費用便益分析の結果(一体評価)

路線名	事業名	延長	事業種別	現拡・BP・その他の別
新清水～増穂	中部横断自動車道	L=58.3km	高規格A	その他

計画交通量 (台/日)	車線数	事業主体
6,200～15,600	2	国土交通省 (株) 中日本 高速道路

① 費用

	事業費	維持管理費	合計
基準年	平成30年度		
単純合計	4,882億円	641億円	5,523億円
うち残事業分	339億円	167億円	506億円
基準年における 現在価値(C)	5,527億円	260億円	5,787億円
うち残事業分	313億円	69億円	382億円

② 便益

	走行時間 短縮便益	走行経費 減少便益	交通事故 減少便益	合計
基準年	平成30年度			
供用年	平成32年度			
単年便益 (初年便益)	349億円	51億円	9.3億円	409億円
基準年における 現在価値(B)	6,749億円	989億円	176億円	7,915億円
うち残事業分	4,621億円	588億円	108億円	5,317億円

③ 結果

費用便益比（事業全体）	1.4
経済的純現在価値（事業全体）	2,128億円
経済的内部収益率（事業全体）	5.7%
費用便益比（残事業）	13.9
経済的純現在価値（残事業）	4,935億円
経済的内部収益率（残事業）	102.1%

注）費用及び便益の合計は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。

④ 感度分析（事業全体を対象）

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比（B/C）
交通量	6,200～15,600	±10%	1.4～1.4
事業費	4,882億円	±10%	1.4～1.4
事業期間	24年	±20%	1.3～1.4

感度分析（残事業を対象）

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比（B/C）
交通量	6,200～15,600	±10%	13.9～14.0
事業費	339億円	±10%	12.9～15.2
事業期間	4年	±20%	13.5～14.3

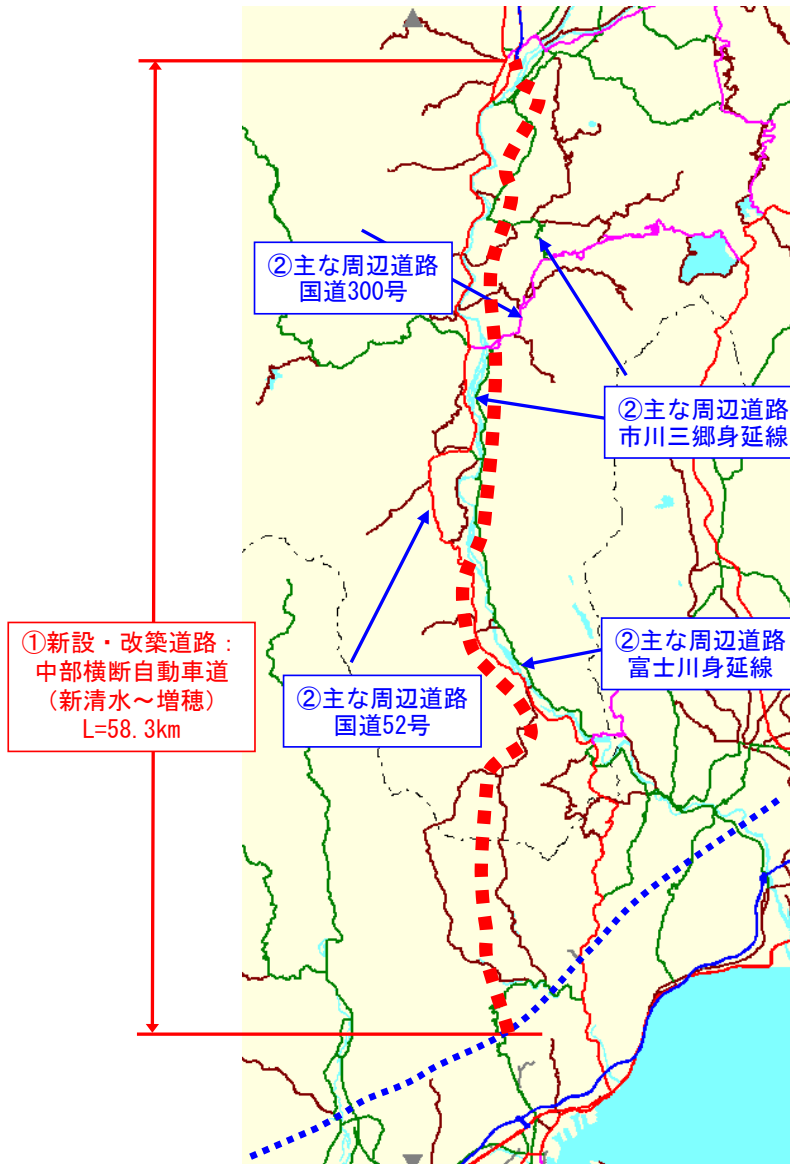
交通状況の変化(一体評価)

事業名：中部横断自動車道(事業全体)

(推計時点 H42年)

			整備なし(A)	整備あり(B)	
①新設・改築道路 : 58.3km	交通量	[台/日]	0	10,100	
	走行時間	[分]	0	52	
	走行時間費用	[億円/年]	0.00	101.70	
②主な周辺道路	国道52号 : 58.7km	交通量	[台/日]	7,200	4,900
		走行時間	[分]	85	80
		走行時間費用	[億円/年]	117.49	75.17
	国道300号 : 6.8km	交通量	[台/日]	4,900	3,700
		走行時間	[分]	8	8
		走行時間費用	[億円/年]	7.16	5.36
	富士川身延線 : 13.8km	交通量	[台/日]	5,500	2,000
		走行時間	[分]	23	20
		走行時間費用	[億円/年]	26.58	7.27
	市川三郷身延線 : 14.1km	交通量	[台/日]	5,400	2,700
		走行時間	[分]	25	22
		走行時間費用	[億円/年]	24.29	9.84
③その他道路合計 : 34339.2km	走行時間費用	[億円/年]	117,228.57	116,859.81	
			走行時間費用 整備なし(A)	走行時間費用 整備あり(B)	走行時間短縮便益 (A - B)
合計 : 34490.9km	走行時間短縮便益	[億円/年]	117,404.10	117,059.16	344.93

(2) 図面 (①、②に該当する道路を明示すること)



交通状況の変化(一体評価)

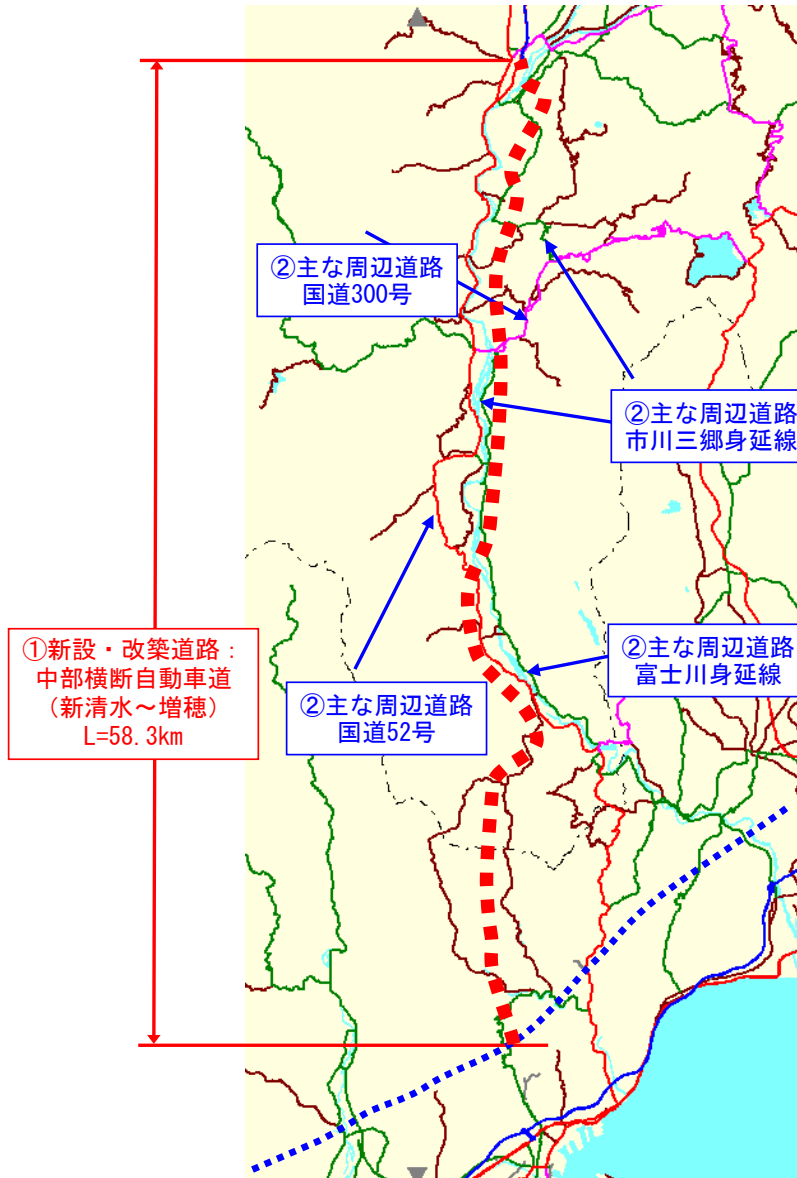
事業名：中部横断自動車道(残事業)

(推計時点 H42年)

			整備なし(A)	整備あり(B)	
①新設・改築道路 : 58.3km	交通量	[台/日]	4,300	10,100	
	走行時間	[分]	34	52	
	走行時間費用	[億円/年]	42.85	101.70	
②主な周辺道路	国道52号 : 58.7km	交通量	[台/日]	6,900	4,900
		走行時間	[分]	87	80
		走行時間費用	[億円/年]	114.37	75.17
	国道300号 : 6.8km	交通量	[台/日]	3,800	3,700
		走行時間	[分]	8	8
		走行時間費用	[億円/年]	5.52	5.36
	富士川身延線 : 13.8km	交通量	[台/日]	6,900	2,000
		走行時間	[分]	25	20
		走行時間費用	[億円/年]	35.83	7.27
	市川三郷身延線 : 14.1km	交通量	[台/日]	4,300	2,700
		走行時間	[分]	25	22
		走行時間費用	[億円/年]	21.59	9.84
③その他道路合計 : 34339.2km	走行時間費用	[億円/年]	117,075.42	116,859.81	

			走行時間費用 整備なし(A)	走行時間費用 整備あり(B)	走行時間短縮便益 (A - B)
合計 : 34490.9km	走行時間短縮便益	[億円/年]	117,295.59	117,059.16	236.43

(2) 図面(①、②)に該当する道路を明示すること



費用便益分析の条件(一体評価)

事業名: 中部横断自動車道

(2)

項目		チェック欄	
算出マニュアル	費用便益分析マニュアル (平成30年2月 国土交通省 道路局 都市局)	<input checked="" type="checkbox"/>	
	その他	<input type="checkbox"/>	
分析の基本的事項	分析対象期間	50年間	
	社会的割引率	4%	
	基準年次	平成30年度	
交通流推計	交通流の推計時点	1時点のみ推計	<input checked="" type="checkbox"/> (H2)
		複数時点での推計	<input type="checkbox"/>
	推計の状況	整備の有無それぞれで交通流を推計	<input checked="" type="checkbox"/>
		整備の有無のいずれかのみ推計	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
		いずれかのみ の推計の場合	いずれかのみ の推計とした理由を記載
	推計に用いた OD表	道路交通センサスをベースとした自動車OD表 (三段階推定法)	<input checked="" type="checkbox"/> (H22センサス)
		パーソントリップ調査をベースとした自動車OD表 (四段階推定法)	<input type="checkbox"/>
		その他()	<input type="checkbox"/>
	開発交通量の 考慮	無	<input checked="" type="checkbox"/>
		有	<input type="checkbox"/>
有の場合のみ		考慮した開発交通量(トリップ数) 考慮した理由を記載 ()台トリップ/日	
配分交通量の 推計手法	Q-V式を用いた配分	<input type="checkbox"/>	
	転換率式を用いた配分	<input type="checkbox"/>	
	Q-V式と転換率式の併用による配分	<input checked="" type="checkbox"/>	
	均衡配分(リンクパフォーマンス関数を用いた配分)	<input type="checkbox"/>	
	簡易手法	<input type="checkbox"/>	
	簡易手法の 採択理由	小規模事業である	<input type="checkbox"/>
		山間部海岸部で併行道路が少ない	<input type="checkbox"/>
	その他()		
	簡易手法の考え方(将来交通量の設定方法等)		
速度設定の 考え方	各回の配分終了時の速度を交通量でウェイト付け して設定	<input checked="" type="checkbox"/>	
	採用理由を記載 交通量が、交通容量(Qmax~Qmin)以上の路線、交通容量(Qmin~Qmax)の 路線等が混在した配分結果となっているため、費用便益算出においては、速度差 の生ずる「加重平均速度」を用いた。		
	最終配分の速度	<input type="checkbox"/>	
	採用理由を記載		
	その他()	<input type="checkbox"/>	

(3)

項目		チェック欄		
便益の算定	休日交通の影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
		考慮する	<input type="checkbox"/>	
		考慮する場合のみ	面的に考慮	<input type="checkbox"/>
			対象路線のみ考慮	<input type="checkbox"/>
	採用した休日係数 休日係数を考慮した理由および採用した休日係数の考え方を記載		() %	
	災害等による通行止めの影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
		考慮する	<input type="checkbox"/>	
		考慮する場合のみ	採用した通行止め日数 採用した通行止め日数の考え方を記載	() 日
			とり止め交通を考慮する とり止め交通を考慮しない場合はその理由、考慮した場合はその考え方を記載	<input type="checkbox"/>
	冬期交通の影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
考慮する		<input type="checkbox"/>		
考慮する場合のみ		採用した冬期日数 採用した冬期日数の考え方を記載	() 日	
		冬期の走行速度と交通容量の関係 設定の考え方を記載		
交通流推計の時点以外の便益の算定	ブロック別・車種別走行台キロの伸び率による設定	<input checked="" type="checkbox"/>		
	その他 ()	<input type="checkbox"/>		
車種別時間価値原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用	<input checked="" type="checkbox"/>		
	独自に設定した値を使用	<input type="checkbox"/>		
車種別走行経費原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用	<input checked="" type="checkbox"/>		
	独自に設定した値を使用	<input type="checkbox"/>		
交通事故減少便益算定	中央分離帯の有無を考慮	<input checked="" type="checkbox"/>		
	中央分離帯の有無を考慮しない	<input type="checkbox"/>		
走行時間短縮・走行経費減少・交通事故減少以外の便益	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>		
	考慮する (考慮の場合、算出根拠を添付すること)	<input type="checkbox"/>		
その他				

(4)

項目		チェック欄		
費用の算定	事業費	詳細事業計画による値を採用	<input checked="" type="checkbox"/>	
		標準投資パターンを採用	<input type="checkbox"/>	
		その他()	<input type="checkbox"/>	
	維持管理費	維持管理費の設定根拠を記載		
		関東地方整備局における既存路線の実績値を参考に設定		
	雪寒費	積雪地域または寒冷地域である	<input type="checkbox"/>	
	当該道路整備が行われない場合の費用	考慮しない		<input checked="" type="checkbox"/>
		考慮する		<input type="checkbox"/>
		考慮する場合のみ	事業費を考慮	<input type="checkbox"/>
			維持管理費を考慮	<input type="checkbox"/>
当該道路整備が行われない場合の費用を考慮した理由及び考え方を記載(対策内容、費用等)				
その他				
4. その他				
.....				
.....				
.....				
.....				
.....				
.....				
.....				

費用の現在価値算定表(一体評価)

				維持管理費の単純単価の算出(消費税相当額含む)			
箇所名: 中部横断自動車道(事業全体)				単価(億円)	延長(km)	単純単価(億円)	
				-	58.3	-	
年次	年度	割引率	GDP デフレーター	事業費(億円)		維持管理費(億円)	
				単純単価	現在価値	単純単価	現在価値
-21年目	H 11	2.1068	115.2	2.24	4.21		
-20年目	H 12	2.0258	113.8	2.93	5.36		
-19年目	H 13	1.9479	112.4	2.97	5.29		
-18年目	H 14	1.8730	110.5	3.05	5.31		
-17年目	H 15	1.8009	109.0	2.96	5.03		
-16年目	H 16	1.7317	107.9	4.60	7.59		
-15年目	H 17	1.6651	106.7	34.69	55.65		
-14年目	H 18	1.6010	105.9	17.17	26.68		
-13年目	H 19	1.5395	105.0	35.12	52.94		
-12年目	H 20	1.4802	104.4	78.68	114.68		
-11年目	H 21	1.4233	103.0	116.31	165.23		
-10年目	H 22	1.3686	101.3	137.19	190.54		
-9年目	H 23	1.3159	99.8	147.85	200.41		
-8年目	H 24	1.2653	99.0	214.89	282.34		
-7年目	H 25	1.2167	99.0	324.83	410.37		
-6年目	H 26	1.1699	101.5	576.10	682.58		
-5年目	H 27	1.1249	103.0	715.82	803.64		
-4年目	H 28	1.0816	102.8	862.22	932.58		
-3年目	H 29	1.0400	102.8	710.51	738.93		
-2年目	H 30	1.0000	102.8	552.70	552.70		
-1年目	H 31	0.9615	102.8	252.78	243.06		
供用開始年次	H 32	0.9246	102.8	6.48	5.99	10.95	10.12
1年目	H 33	0.8890	102.8	6.48	5.76	11.17	9.93
2年目	H 34	0.8548	102.8	73.56	62.88	11.22	9.59
3年目	H 35	0.8219	102.8			11.44	9.40
4年目	H 36	0.7903	102.8			11.45	9.05
5年目	H 37	0.7599	102.8			11.58	8.80
6年目	H 38	0.7307	102.8			11.83	8.64
7年目	H 39	0.7026	102.8			11.87	8.34
8年目	H 40	0.6756	102.8			12.11	8.18
9年目	H 41	0.6496	102.8			12.15	7.89
10年目	H 42	0.6246	102.8			12.28	7.67
11年目	H 43	0.6006	102.8			12.51	7.51
12年目	H 44	0.5775	102.8			12.55	7.25
13年目	H 45	0.5553	102.8			12.80	7.11
14年目	H 46	0.5339	102.8			12.84	6.86
15年目	H 47	0.5134	102.8			12.98	6.66
16年目	H 48	0.4936	102.8			13.21	6.52
17年目	H 49	0.4746	102.8			13.25	6.29
18年目	H 50	0.4564	102.8			13.47	6.15
19年目	H 51	0.4388	102.8			13.51	5.93
20年目	H 52	0.4220	102.8			13.65	5.76
21年目	H 53	0.4057	102.8			13.84	5.62
22年目	H 54	0.3901	102.8			13.84	5.40
23年目	H 55	0.3751	102.8			13.92	5.22
24年目	H 56	0.3607	102.8			13.81	4.98
25年目	H 57	0.3468	102.8			13.78	4.78
26年目	H 58	0.3335	102.8			13.87	4.63
27年目	H 59	0.3207	102.8			13.77	4.41
28年目	H 60	0.3083	102.8			13.85	4.27
29年目	H 61	0.2965	102.8			13.74	4.07
30年目	H 62	0.2851	102.8			13.72	3.91
31年目	H 63	0.2741	102.8			13.80	3.78
32年目	H 64	0.2636	102.8			13.68	3.61
33年目	H 65	0.2534	102.8			13.77	3.49
34年目	H 66	0.2437	102.8			13.66	3.33
35年目	H 67	0.2343	102.8			13.65	3.20
36年目	H 68	0.2253	102.8			13.75	3.10
37年目	H 69	0.2166	102.8			13.63	2.95
38年目	H 70	0.2083	102.8			13.72	2.86
39年目	H 71	0.2003	102.8			13.60	2.72
40年目	H 72	0.1926	102.8			13.59	2.62
41年目	H 73	0.1852	102.8			13.68	2.53
42年目	H 74	0.1780	102.8			13.57	2.42
43年目	H 75	0.1712	102.8			13.65	2.34
44年目	H 76	0.1646	102.8			13.55	2.23
45年目	H 77	0.1583	102.8			13.54	2.14
46年目	H 78	0.1522	102.8			13.62	2.07
47年目	H 79	0.1463	102.8			10.20	1.49
48年目	H 80	0.1407	102.8			10.30	1.45
49年目	H 81	0.1353	102.8	-240.70	-32.57	4.75	0.64
合計				4641.45	5527.20	640.66	259.92
単純事業費計				4882.15		640.66	

注1) 事業費の投資パターンは、詳細事業計画による値を採用したものであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。
 このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。
 注2) 評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

費用の現在価値算定表(一体評価)

維持管理費の単純単価の算出(消費税相当額含む)

箇所名: 中部横断自動車道(残事業)

単価(億円)	延長(km)	単純単価(億円)
0.18	19.9	3.61

年次	年度	割引率	GDP デフレーター	事業費(億円)		維持管理費(億円)	
				単純単価	現在単価	単純単価	現在単価
-21年目	H 11	2.1068	115.2				
-20年目	H 12	2.0258	113.8				
-19年目	H 13	1.9479	112.4				
-18年目	H 14	1.8730	110.5				
-17年目	H 15	1.8009	109.0				
-16年目	H 16	1.7317	107.9				
-15年目	H 17	1.6651	106.7				
-14年目	H 18	1.6010	105.9				
-13年目	H 19	1.5395	105.0				
-12年目	H 20	1.4802	104.4				
-11年目	H 21	1.4233	103.0				
-10年目	H 22	1.3686	101.3				
-9年目	H 23	1.3159	99.8				
-8年目	H 24	1.2653	99.0				
-7年目	H 25	1.2167	99.0				
-6年目	H 26	1.1699	101.5				
-5年目	H 27	1.1249	103.0				
-4年目	H 28	1.0816	102.8				
-3年目	H 29	1.0400	102.8				
-2年目	H 30	1.0000	102.8				
-1年目	H 31	0.9615	102.8	252.78	243.06		
供用開始年次	H 32	0.9246	102.8	6.48	5.99	3.34	3.09
1年目	H 33	0.8890	102.8	6.48	5.76	3.34	2.97
2年目	H 34	0.8548	102.8	73.56	62.88	3.34	2.86
3年目	H 35	0.8219	102.8			3.34	2.75
4年目	H 36	0.7903	102.8			3.34	2.64
5年目	H 37	0.7599	102.8			3.34	2.54
6年目	H 38	0.7307	102.8			3.34	2.44
7年目	H 39	0.7026	102.8			3.34	2.35
8年目	H 40	0.6756	102.8			3.34	2.26
9年目	H 41	0.6496	102.8			3.34	2.17
10年目	H 42	0.6246	102.8			3.34	2.09
11年目	H 43	0.6006	102.8			3.34	2.01
12年目	H 44	0.5775	102.8			3.34	1.93
13年目	H 45	0.5553	102.8			3.34	1.85
14年目	H 46	0.5339	102.8			3.34	1.78
15年目	H 47	0.5134	102.8			3.34	1.71
16年目	H 48	0.4936	102.8			3.34	1.65
17年目	H 49	0.4746	102.8			3.34	1.59
18年目	H 50	0.4564	102.8			3.34	1.52
19年目	H 51	0.4388	102.8			3.34	1.47
20年目	H 52	0.4220	102.8			3.34	1.41
21年目	H 53	0.4057	102.8			3.34	1.36
22年目	H 54	0.3901	102.8			3.34	1.30
23年目	H 55	0.3751	102.8			3.34	1.25
24年目	H 56	0.3607	102.8			3.34	1.20
25年目	H 57	0.3468	102.8			3.34	1.16
26年目	H 58	0.3335	102.8			3.34	1.11
27年目	H 59	0.3207	102.8			3.34	1.07
28年目	H 60	0.3083	102.8			3.34	1.03
29年目	H 61	0.2965	102.8			3.34	0.99
30年目	H 62	0.2851	102.8			3.34	0.95
31年目	H 63	0.2741	102.8			3.34	0.92
32年目	H 64	0.2636	102.8			3.34	0.88
33年目	H 65	0.2534	102.8			3.34	0.85
34年目	H 66	0.2437	102.8			3.34	0.81
35年目	H 67	0.2343	102.8			3.34	0.78
36年目	H 68	0.2253	102.8			3.34	0.75
37年目	H 69	0.2166	102.8			3.34	0.72
38年目	H 70	0.2083	102.8			3.34	0.70
39年目	H 71	0.2003	102.8			3.34	0.67
40年目	H 72	0.1926	102.8			3.34	0.64
41年目	H 73	0.1852	102.8			3.34	0.62
42年目	H 74	0.1780	102.8			3.34	0.59
43年目	H 75	0.1712	102.8			3.34	0.57
44年目	H 76	0.1646	102.8			3.34	0.55
45年目	H 77	0.1583	102.8			3.34	0.53
46年目	H 78	0.1522	102.8			3.34	0.51
47年目	H 79	0.1463	102.8			3.34	0.49
48年目	H 80	0.1407	102.8			3.34	0.47
49年目	H 81	0.1353	102.8	-35.54	-4.81	3.34	0.45
合計				303.76	312.88	167.01	68.99
単純事業費計				339.30		167.01	

注1) 事業費の投資パターンは、詳細事業計画による値を採用したものであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。

このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。

注2) 評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

費用便益分析の結果(富沢～六郷)

路線名	事業名	延長	事業種別	現拡・BP・その他の別
富沢～六郷	中部横断自動車道	L=28.3km	高規格A	その他

計画交通量 (台/日)	車線数	事業主体
12,300～15,600	2	国土交通省

① 費用

	事業費	維持管理費	合計
基準年	平成30年度		
単純合計	2,610億円	238億円	2,847億円
うち残事業分	339億円	167億円	506億円
基準年における 現在価値(C)	2,944億円	98億円	3,042億円
うち残事業分	313億円	69億円	382億円

② 便益

	走行時間 短縮便益	走行経費 減少便益	交通事故 減少便益	合計
基準年	平成30年度			
供用年	平成32年度			
単年便益 (初年便益)	105億円	13億円	3.3億円	122億円
基準年における 現在価値(B)	2,069億円	263億円	62億円	2,394億円
うち残事業分	1,406億円	130億円	36億円	1,571億円

③ 結果

費用便益比（事業全体）	0.8
経済的純現在価値（事業全体）	-648億円
経済的内部収益率（事業全体）	2.8%
費用便益比（残事業）	4.1
経済的純現在価値（残事業）	1,189億円
経済的内部収益率（残事業）	25.5%

注）費用及び便益の合計は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。

④ 感度分析（事業全体を対象）

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比（B/C）
交通量	12,300～15,600	±10%	0.8～0.8
事業費	2,610億円	±10%	0.8～0.8
事業期間	18年	±20%	0.8～0.8

感度分析（残事業を対象）

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比（B/C）
交通量	12,300～15,600	±10%	4.1～4.1
事業費	339億円	±10%	3.8～4.5
事業期間	4年	±20%	4.0～4.2

交通状況の変化(富沢～六郷)

事業名：中部横断自動車道(事業全体)

(推計時点 H42年)

			整備なし(A)	整備あり(B)	
①新設・改築道路 : 28.3km	交通量	[台/日]	0	14,000	
	走行時間	[分]	0	25	
	走行時間費用	[億円/年]	0.00	68.21	
②主な周辺道路	国道52号 : 26.3km	交通量	[台/日]	6,900	2,600
		走行時間	[分]	39	34
		走行時間費用	[億円/年]	52.71	16.74
	国道300号 : 6.8km	交通量	[台/日]	4,400	3,700
		走行時間	[分]	8	8
		走行時間費用	[億円/年]	6.56	5.36
	富士川身延線 : 13.8km	交通量	[台/日]	6,300	2,000
		走行時間	[分]	25	20
		走行時間費用	[億円/年]	32.32	7.27
	市川三郷身延線 : 6.7km	交通量	[台/日]	8,100	3,700
		走行時間	[分]	13	9
		走行時間費用	[億円/年]	19.32	6.29
	光子沢大野線 : 7.0km	交通量	[台/日]	300	0
		走行時間	[分]	11	11
		走行時間費用	[億円/年]	0.63	0.00
③その他道路合計 : 27770.4km	走行時間費用	[億円/年]	87,971.62	87,874.19	

			走行時間費用 整備なし(A)	走行時間費用 整備あり(B)	走行時間短縮便益 (A - B)
合計 : 27859.3km	走行時間短縮便益	[億円/年]	88,083.17	87,978.06	105.11

(2) 図面(①、②に該当する道路を明示すること)



交通状況の変化(富沢～六郷)

事業名：中部横断自動車道(残事業)

(推計時点 H42年)

			整備なし(A)	整備あり(B)	
①新設・改築道路 : 28.3km	交通量	[台/日]	3,600	14,000	
	走行時間	[分]	0	25	
	走行時間費用	[億円/年]	17.21	68.21	
②主な周辺道路	国道52号 : 26.3km	交通量	[台/日]	7,300	2,600
		走行時間	[分]	41	34
		走行時間費用	[億円/年]	59.06	16.74
	国道300号 : 6.8km	交通量	[台/日]	3,800	3,700
		走行時間	[分]	8	8
		走行時間費用	[億円/年]	5.52	5.36
	富士川身延線 : 13.8km	交通量	[台/日]	6,900	2,000
		走行時間	[分]	25	20
		走行時間費用	[億円/年]	35.83	7.27
	市川三郷身延線 : 6.7km	交通量	[台/日]	8,300	3,700
		走行時間	[分]	13	9
		走行時間費用	[億円/年]	20.17	6.29
	光子沢大野線 : 7.0km	交通量	[台/日]	300	0
		走行時間	[分]	11	11
		走行時間費用	[億円/年]	0.65	0.00
③その他道路合計 : 27770.4km	走行時間費用	[億円/年]	87,911.08	87,874.19	

			走行時間費用 整備なし(A)	走行時間費用 整備あり(B)	走行時間短縮便益 (A - B)
合計 : 27859.3km	走行時間短縮便益	[億円/年]	88,049.52	87,978.06	71.46

(2) 図面(①、②に該当する道路を明示すること)



費用便益分析の条件(富沢～六郷)

事業名: 中部横断自動車道

(2)

項目		チェック欄
算出マニュアル	費用便益分析マニュアル (平成30年2月 国土交通省 道路局 都市局)	<input checked="" type="checkbox"/>
	その他	<input type="checkbox"/>
分析の基本的事項	分析対象期間	50年間
	社会的割引率	4%
	基準年次	平成30年度
交通流の推計時点	1時点のみ推計	<input checked="" type="checkbox"/> (H42)
	複数時点での推計	<input type="checkbox"/>
推計の状況	整備の有無それぞれで交通流を推計	<input checked="" type="checkbox"/>
	整備の有無のいずれかのみ推計	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	いずれかのみ の推計の場合	いずれかのみ の推計とした理由を記載
推計に用いたOD表	道路交通センサスをベースとした自動車OD表 (三段階推定法)	<input checked="" type="checkbox"/> (H22センサス)
	パーソントリップ調査をベースとした自動車OD表 (四段階推定法)	<input type="checkbox"/>
	その他()	<input type="checkbox"/>
開発交通量の考慮	無	<input checked="" type="checkbox"/>
	有	<input type="checkbox"/>
	有の場合のみ	考慮した開発交通量(トリップ数) 考慮した理由を記載 ()台トリップ/日
配分交通量の推計手法	Q-V式を用いた配分	<input type="checkbox"/>
	転換率式を用いた配分	<input type="checkbox"/>
	Q-V式と転換率式の併用による配分	<input checked="" type="checkbox"/>
	均衡配分(リンクパフォーマンス関数を用いた配分)	<input type="checkbox"/>
	簡易手法	<input type="checkbox"/>
	簡易手法の採択理由	小規模事業である <input type="checkbox"/> 山間部海岸部で併行道路が少ない <input type="checkbox"/> その他()
	簡易手法の考え方(将来交通量の設定方法等)	
速度設定の考え方	各回の配分終了時の速度を交通量でウェイト付けして設定	<input checked="" type="checkbox"/>
	採用理由を記載 交通量が、交通容量(Qmax~Qmin)以上の路線、交通容量(Qmin~Qmax)の路線等が混在した配分結果となっているため、費用便益算出においては、速度差の生ずる「加重平均速度」を用いた。	
	最終配分の速度	<input type="checkbox"/>
	採用理由を記載	
その他()	<input type="checkbox"/>	

(3)

項目		チェック欄		
便益の算定	休日交通の影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
		考慮する	<input type="checkbox"/>	
		考慮する場合のみ	面的に考慮	<input type="checkbox"/>
			対象路線のみ考慮	<input type="checkbox"/>
	採用した休日係数 休日係数を考慮した理由および採用した休日係数の考え方を記載		() %	
	災害等による通行止めの影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
		考慮する	<input type="checkbox"/>	
		考慮する場合のみ	採用した通行止め日数 採用した通行止め日数の考え方を記載	() 日
			とり止め交通を考慮する とり止め交通を考慮しない場合はその理由、考慮した場合はその考え方を記載	<input type="checkbox"/>
	冬期交通の影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
		考慮する	<input type="checkbox"/>	
		考慮する場合のみ	採用した冬期日数 採用した冬期日数の考え方を記載	() 日
			冬期の走行速度と交通容量の関係 設定の考え方を記載	
	交通流推計の時点以外の便益の算定	ブロック別・車種別走行台キロの伸び率による設定	<input checked="" type="checkbox"/>	
		その他 ()	<input type="checkbox"/>	
車種別時間価値原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用	<input checked="" type="checkbox"/>		
	独自に設定した値を使用	<input type="checkbox"/>		
車種別走行経費原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用	<input checked="" type="checkbox"/>		
	独自に設定した値を使用	<input type="checkbox"/>		
交通事故減少便益算定	中央分離帯の有無を考慮	<input checked="" type="checkbox"/>		
	中央分離帯の有無を考慮しない	<input type="checkbox"/>		
走行時間短縮・走行経費減少・交通事故減少以外の便益	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>		
	考慮する (考慮の場合、算出根拠を添付すること)	<input type="checkbox"/>		
その他				

(4)

項目		チェック欄	
費用の算定	事業費	詳細事業計画による値を採用 <input checked="" type="checkbox"/>	
		標準投資パターンを採用 <input type="checkbox"/>	
		その他() <input type="checkbox"/>	
	維持管理費	維持管理費の設定根拠を記載	
		関東地方整備局における既存路線の実績値を参考に設定	
	雪寒費	積雪地域または寒冷地域である <input type="checkbox"/>	
	当該道路整備が行われない場合の費用	考慮しない <input checked="" type="checkbox"/>	
		考慮する <input type="checkbox"/>	
		考慮する場合のみ	事業費を考慮 <input type="checkbox"/>
			維持管理費を考慮 <input type="checkbox"/>
当該道路整備が行われない場合の費用を考慮した理由及び考え方を記載(対策内容、費用等)			
その他			
4. その他			
.....			
.....			
.....			
.....			
.....			
.....			
.....			

費用の現在価値算定表(富沢～六郷)

維持管理費の単純単価の算出(消費税相当額含む)

箇所名: 中部横断自動車道(事業全体)

単価(億円)	延長(km)	単純単価(億円)
0.18	28.3	5.13

年次	年度	割引率	GDP デフレーター	事業費(億円)		維持管理費(億円)	
				単純単価	現在単価	単純単価	現在単価
-15年目	H 17	1.6651	106.7	30.97	49.68		
-14年目	H 18	1.6010	105.9	9.75	15.15		
-13年目	H 19	1.5395	105.0	19.14	28.85		
-12年目	H 20	1.4802	104.4	50.36	73.41		
-11年目	H 21	1.4233	103.0	71.44	101.49		
-10年目	H 22	1.3686	101.3	64.38	89.42		
-9年目	H 23	1.3159	99.8	62.92	85.29		
-8年目	H 24	1.2653	99.0	128.92	169.39		
-7年目	H 25	1.2167	99.0	223.13	281.89		
-6年目	H 26	1.1699	101.5	286.13	339.01		
-5年目	H 27	1.1249	103.0	297.63	334.14		
-4年目	H 28	1.0816	102.8	349.69	378.22		
-3年目	H 29	1.0400	102.8	372.51	387.41		
-2年目	H 30	1.0000	102.8	303.70	303.70		
-1年目	H 31	0.9615	102.8	252.78	243.06		
供用開始年次	H 32	0.9246	102.8	6.48	5.99	4.75	4.39
1年目	H 33	0.8890	102.8	6.48	5.76	4.75	4.22
2年目	H 34	0.8548	102.8	73.56	62.88	4.75	4.06
3年目	H 35	0.8219	102.8			4.75	3.90
4年目	H 36	0.7903	102.8			4.75	3.75
5年目	H 37	0.7599	102.8			4.75	3.61
6年目	H 38	0.7307	102.8			4.75	3.47
7年目	H 39	0.7026	102.8			4.75	3.34
8年目	H 40	0.6756	102.8			4.75	3.21
9年目	H 41	0.6496	102.8			4.75	3.09
10年目	H 42	0.6246	102.8			4.75	2.97
11年目	H 43	0.6006	102.8			4.75	2.85
12年目	H 44	0.5775	102.8			4.75	2.74
13年目	H 45	0.5553	102.8			4.75	2.64
14年目	H 46	0.5339	102.8			4.75	2.54
15年目	H 47	0.5134	102.8			4.75	2.44
16年目	H 48	0.4936	102.8			4.75	2.34
17年目	H 49	0.4746	102.8			4.75	2.25
18年目	H 50	0.4564	102.8			4.75	2.17
19年目	H 51	0.4388	102.8			4.75	2.08
20年目	H 52	0.4220	102.8			4.75	2.00
21年目	H 53	0.4057	102.8			4.75	1.93
22年目	H 54	0.3901	102.8			4.75	1.85
23年目	H 55	0.3751	102.8			4.75	1.78
24年目	H 56	0.3607	102.8			4.75	1.71
25年目	H 57	0.3468	102.8			4.75	1.65
26年目	H 58	0.3335	102.8			4.75	1.58
27年目	H 59	0.3207	102.8			4.75	1.52
28年目	H 60	0.3083	102.8			4.75	1.46
29年目	H 61	0.2965	102.8			4.75	1.41
30年目	H 62	0.2851	102.8			4.75	1.35
31年目	H 63	0.2741	102.8			4.75	1.30
32年目	H 64	0.2636	102.8			4.75	1.25
33年目	H 65	0.2534	102.8			4.75	1.20
34年目	H 66	0.2437	102.8			4.75	1.16
35年目	H 67	0.2343	102.8			4.75	1.11
36年目	H 68	0.2253	102.8			4.75	1.07
37年目	H 69	0.2166	102.8			4.75	1.03
38年目	H 70	0.2083	102.8			4.75	0.99
39年目	H 71	0.2003	102.8			4.75	0.95
40年目	H 72	0.1926	102.8			4.75	0.91
41年目	H 73	0.1852	102.8			4.75	0.88
42年目	H 74	0.1780	102.8			4.75	0.85
43年目	H 75	0.1712	102.8			4.75	0.81
44年目	H 76	0.1646	102.8			4.75	0.78
45年目	H 77	0.1583	102.8			4.75	0.75
46年目	H 78	0.1522	102.8			4.75	0.72
47年目	H 79	0.1463	102.8			4.75	0.70
48年目	H 80	0.1407	102.8			4.75	0.67
49年目	H 81	0.1353	102.8	-76.70	-10.38	4.75	0.64
合計				2533.28	2944.37	237.50	98.12
単純事業費計				2609.98		237.50	

注1) 事業費の投資パターンは、詳細事業計画による値を採用したものであり、

必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。

このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。

注2) 評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

費用の現在価値算定表(富沢～六郷)

維持管理費の単純単価の算出(消費税相当額含む)

箇所名: 中部横断自動車道(残事業)

単価(億円)	延長(km)	単純単価(億円)
0.18	19.9	3.61

年次	年度	割引率	GDP デフレーター	事業費(億円)		維持管理費(億円)	
				単純単価	現在価値	単純単価	現在価値
-15年目	H 17	1.6651	106.7				
-14年目	H 18	1.6010	105.9				
-13年目	H 19	1.5395	105.0				
-12年目	H 20	1.4802	104.4				
-11年目	H 21	1.4233	103.0				
-10年目	H 22	1.3686	101.3				
-9年目	H 23	1.3159	99.8				
-8年目	H 24	1.2653	99.0				
-7年目	H 25	1.2167	99.0				
-6年目	H 26	1.1699	101.5				
-5年目	H 27	1.1249	103.0				
-4年目	H 28	1.0816	102.8				
-3年目	H 29	1.0400	102.8				
-2年目	H 30	1.0000	102.8				
-1年目	H 31	0.9615	102.8	252.78	243.06		
供用開始年次	H 32	0.9246	102.8	6.48	5.99	3.34	3.09
1年目	H 33	0.8890	102.8	6.48	5.76	3.34	2.97
2年目	H 34	0.8548	102.8	73.56	62.88	3.34	2.86
3年目	H 35	0.8219	102.8			3.34	2.75
4年目	H 36	0.7903	102.8			3.34	2.64
5年目	H 37	0.7599	102.8			3.34	2.54
6年目	H 38	0.7307	102.8			3.34	2.44
7年目	H 39	0.7026	102.8			3.34	2.35
8年目	H 40	0.6756	102.8			3.34	2.26
9年目	H 41	0.6496	102.8			3.34	2.17
10年目	H 42	0.6246	102.8			3.34	2.09
11年目	H 43	0.6006	102.8			3.34	2.01
12年目	H 44	0.5775	102.8			3.34	1.93
13年目	H 45	0.5553	102.8			3.34	1.85
14年目	H 46	0.5339	102.8			3.34	1.78
15年目	H 47	0.5134	102.8			3.34	1.71
16年目	H 48	0.4936	102.8			3.34	1.65
17年目	H 49	0.4746	102.8			3.34	1.59
18年目	H 50	0.4564	102.8			3.34	1.52
19年目	H 51	0.4388	102.8			3.34	1.47
20年目	H 52	0.4220	102.8			3.34	1.41
21年目	H 53	0.4057	102.8			3.34	1.36
22年目	H 54	0.3901	102.8			3.34	1.30
23年目	H 55	0.3751	102.8			3.34	1.25
24年目	H 56	0.3607	102.8			3.34	1.20
25年目	H 57	0.3468	102.8			3.34	1.16
26年目	H 58	0.3335	102.8			3.34	1.11
27年目	H 59	0.3207	102.8			3.34	1.07
28年目	H 60	0.3083	102.8			3.34	1.03
29年目	H 61	0.2965	102.8			3.34	0.99
30年目	H 62	0.2851	102.8			3.34	0.95
31年目	H 63	0.2741	102.8			3.34	0.92
32年目	H 64	0.2636	102.8			3.34	0.88
33年目	H 65	0.2534	102.8			3.34	0.85
34年目	H 66	0.2437	102.8			3.34	0.81
35年目	H 67	0.2343	102.8			3.34	0.78
36年目	H 68	0.2253	102.8			3.34	0.75
37年目	H 69	0.2166	102.8			3.34	0.72
38年目	H 70	0.2083	102.8			3.34	0.70
39年目	H 71	0.2003	102.8			3.34	0.67
40年目	H 72	0.1926	102.8			3.34	0.64
41年目	H 73	0.1852	102.8			3.34	0.62
42年目	H 74	0.1780	102.8			3.34	0.59
43年目	H 75	0.1712	102.8			3.34	0.57
44年目	H 76	0.1646	102.8			3.34	0.55
45年目	H 77	0.1583	102.8			3.34	0.53
46年目	H 78	0.1522	102.8			3.34	0.51
47年目	H 79	0.1463	102.8			3.34	0.49
48年目	H 80	0.1407	102.8			3.34	0.47
49年目	H 81	0.1353	102.8	-35.54	-4.81	3.34	0.45
合計				303.76	312.88	167.01	68.99

単純事業費計	339.30	167.01
--------	--------	--------

注1) 事業費の投資パターンは、詳細事業計画による値を採用したものであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。
 このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。
 注2) 評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

路線名	箇所名	車線数	延長
中部横断自動車道	富沢～六郷	2	28.3km

■事業費内訳(事業全体)

区分	費目	工種	単位	全体事業費		備考
				数量	金額 (百万円)	
①	工事費		式	1	227,124	
	改良費		式	1	46,983	
		土工	m3	1,729,301	30,500	
		軟弱地盤改良工	m3	74,842	609	
		法面工	m2	234,802	2,337	
		擁壁工	式	1	1,553	
		管渠工	m	745	89	
		函渠工	m	1,043	1,707	
		排水工	m	21,553	683	
		中央分離帯工	m	28,226	164	
		雑工	式	1	9,341	
	橋梁費		式	1	39,919	
		100m以上	m	5,275	33,485	
		100m未満	m	1,097	6,434	
	トンネル費		式	1	124,027	
		NATM	m	14,930	124,027	
		シールド	m			
	IC・JCT費		式	1	6,849	
		IC	箇所	6	6,849	
		JCT	箇所			
	舗装費		式	1	4,497	
		車道舗装	m2	348,457	4,497	
		歩道舗装	m2	0		
	付帯施設費		式	1	4,849	
		交通管理施設工	式	1	4,849	
		遮音壁	m	0		
②	用地及補償費		式	1	15,205	
	用地費		m2	1,892,851	7,670	
		宅地	m2	204,794	3,686	
		田畑	m2	406,017	3,343	
		山地・原野	m2	1,282,040	641	
		その他	m2			
	補償費		式	1	7,535	
③	間接経費		式	1	37,071	地質調査、測量、設計にかかる費用及び予備費
全体事業費					279,400	

【単価等について】

- 工事費算出にあたっては、土木工事標準歩掛及び近接事業箇所の実績単価を使用
- 用地補償費算出にあたっては、近接事業箇所の直近実績単価を使用

路線名	箇所名	車線数	延長
中部横断自動車道	富沢～六郷	2	19.9km

■事業費内訳(残事業)

区分	費目	工種	単位	全体事業費		備考
				数量	金額 (百万円)	
①工事費			式	1	22,640	
	改良費		式	1	7,198	
		土工	m3	60,611	1,069	
		軟弱地盤改良工	m3	0	0	
		法面工	m2	102,581	1,021	
		擁壁工	式	1	434	
		管渠工	m	243	29	
		函渠工	m	44	72	
		排水工	m	6,624	362	
		中央分離帯工	m	8,675	87	
		雑工	式	1	4,124	
	橋梁費		式	1	3,682	
		100m以上	m	241	1,533	
		100m未満	m	366	2,149	
	トンネル費		式	1	4,955	
		NATM	m	493	4,955	
		シールド	m			
	IC・JCT費		式	1	233	
		IC	箇所	6	233	
		JCT	箇所			
	舗装費		式	1	3,247	
		車道舗装	m2	251,599	3,247	
		歩道舗装	m2	0		
	付帯施設費		式	1	3,325	
		交通管理施設工	式	1	3,325	
		遮音壁	m	0		
②用地及補償費			式	1	7,000	
	用地費		m2	864,531	3,584	
		宅地	m2	89,700	1,695	
		田畑	m2	210,531	1,577	
		山地・原野	m2	564,300	312	
		その他	m2			
	補償費		式	1	3,416	
③間接経費			式	1	6,720	地質調査、測量、設計にかかる費用及び予備費
全体事業費					36,360	

【単価等について】

- 工事費算出にあたっては、土木工事標準歩掛及び近接事業箇所の実績単価を使用
- 用地補償費算出にあたっては、近接事業箇所の直近実績単価を使用

(事業全体)

路線名	箇所名	車線数	延長
中部横断自動車道	富沢～六郷	2	28.3km

■維持管理費内訳

区分	単位	数量	金額 (百万円)	備考
維持費	km	28.3	6,950	巡回、清掃、除草、除雪等
修繕費	式	1	18,700	路面補修、構造物の点検・補修等
その他	式			
維持管理費合計			25,650	

【単価等について】

○維持管理費は、当該道路周辺地域における直轄国道の維持管理等に要する実績経費に基づき算出。

(残事業)

路線名	箇所名	車線数	延長
中部横断自動車道	富沢～六郷	2	19.9km

■維持管理費内訳

区分	単位	数量	金額 (百万円)	備考
維持費	km	19.9	4,800	巡回、清掃、除草、除雪等
修繕費	式	1	12,920	路面補修、構造物の点検・補修等
その他	式			
維持管理費合計			17,720	

【単価等について】

○維持管理費は、当該道路周辺地域における直轄国道の維持管理等に要する実績経費に基づき算出。

高道推第373号
平成30年7月4日

国土交通省

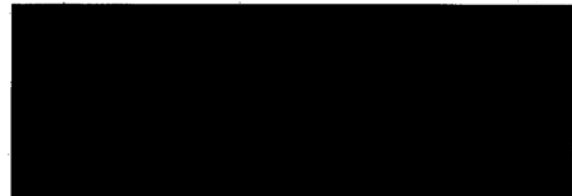
関東地方整備局長 殿

山梨県知事



関東地方整備局事業評価監視委員会に諮る対応方針（原案）の
作成に係る意見照会について（回答）

平成30年7月4日付け国関整企画第82号により意見照会のあった標記の件
については、別添のとおり回答します。



(再評価)

(回答様式)

【道路事業】

事業名	「対応方針(原案)」 案※	山梨県知事の意見
中部横断自動車道(富沢～六郷) 継続		<p>中部横断自動車道は、東西方向の中央自動車道と連携して、本県の南北方向の交通軸として、産業・経済の発展や観光振興に寄与するとともに、災害時の緊急輸送路となる重要な道路であり、多くの県民が大きな期待を寄せ、早期全線開通を念願しております。</p> <p>全線開通に向けて、沿線自治体や民間企業、経済団体は開通後の当該道路を最大限に活用するため、「中部横断道路沿線地域活性化ビジョン」を平成28年3月に策定し、沿線地域の「個性が輝き、ヒト・モノ・情報が行き交う地域」を目指して、様々な取り組みを準備・実行してきています。</p> <p>このため、当該原案に対して以下の意見を申し添えます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ①事業期間の延滞は最小限に努めるとともに、工事の進捗を踏まえ具体的な開通時期を速やかに示すこと。 ②事業費増加の要因に対し、更なる工夫・コスト縮減を図ること。 ③地方負担の低減に努めること。 <p>以上の点を踏まえ、事業を継続し一日も早い全線開通に努め、工事の進捗状況を順次、県へ説明をお願いします。</p>

※貴職の意見を踏まえ、関東地方整備局事業評価監視委員会へ諮る対応方針(原案)を作成するためのものです。